

感染状況・医療提供体制の分析(10月20日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月~日)の合計 ③~⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (10月13日公表)	現在の数値 (10月20日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	411人	274人	↓	感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
		定点当たり数	4.89人	3.26人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	23.4%	30.3%	↑	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	3.64人	2.14人	↓	定点当たり患者報告数は 3.26人 と減少。但し、インフルエンザの患者数増加し(定点当6.35人)、インフルエンザ注意報発令中。 全国的にも岡山でも新型コロナ感染は落ち着いているが、インフルエンザは増加継続。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。重症化リスクのある方は、重症化を防ぐために新型コロナワクチン接種が推奨される。また、早めのインフルエンザワクチン接種も推奨される。
		倉敷市保健所	6.38人	3.38人	↓	
		備前保健所	3.80人	3.27人	↓	
		備中保健所	4.17人	4.08人	→	
		備北保健所	6.50人	5.50人	↓	
真庭保健所		4.67人	2.00人	↓		
美作保健所	6.90人	2.80人	↓			
医療提供体制	③ 入院報告数	129人	121人	↓	医療提供体制コメント レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる	
	④ 重症者数	6人	1人	↓	入院報告数も減少傾向。新型コロナウィルス患者の入院は継続するも、県全体としては医療提供体制は安定している。	